



● 無料AIセキュリティ診断 ご利用ガイド

あなたのホームページ、 外から見て**安全**ですか。

Reactor 1.0 の無料診断で、公開ページから確認できるセキュリティ上の注意点を検査します。アカウントを作成し、サイトの所有権を確認したうえで、ご自身のサイトだけを検査します。このガイドでは、確認できる項目、操作の流れ、結果の読み方をご案内します。

PRICE

公開ページの
簡易チェックは無料

TARGET

所有権を確認した
ご自身のサイト

METHOD

ページの取得と
応答の解析のみ

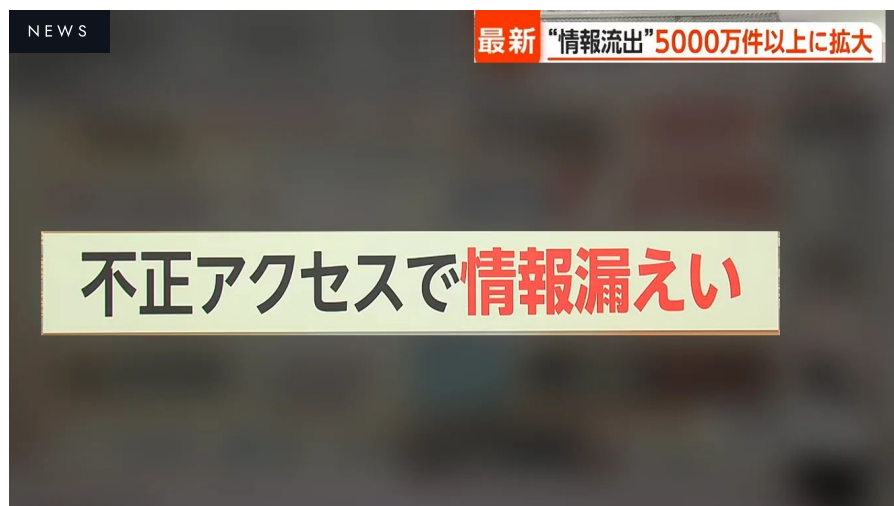
ENGINE

診断は
Reactor 1.0 が担当

01 SOCIAL ISSUE

情報漏洩は、 もう他人事ではない。

企業からの“情報流出”は5,000万件を超えたと報じられています。大手企業でも漏えいが相次ぎ、中小企業も被害の対象に。次は“うちのサイト”かもしれません。



左:出典 FNNプライムオンライン (2026年10月9日)画面の一部をぼかして掲載



右:報道時点の見出しをもとにしたイメージ

01

流出は、桁違いの規模に

企業からの“情報流出”は5,000万件を超えたと報じられています (出典:FNNプライムオンライン 2026年10月9日)。

02

攻撃に、AIが使われる

生成AIで言語の壁がなくなり、攻撃はより大規模に、より巧妙になっています。

03

人の手の点検では、追いつかない

手口は日々変わります。年に一度の点検や、担当者の経験だけに頼る守りでは間に合いません。

REACTOR'S ANSWER

AIで仕掛けられる攻撃には、AIで先回りする守りが必要です。

企業の規模を問わず、まずは自社サイトの現状を外から確かめることから始めましょう。

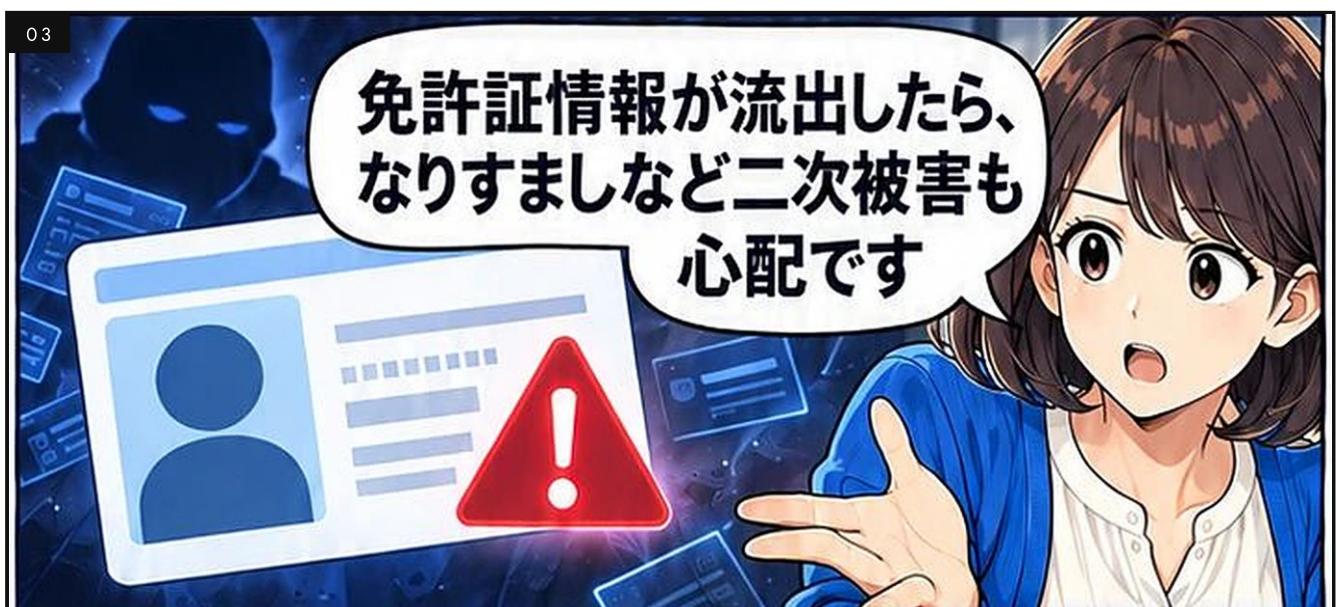
MANGA STORY

もしも、 “うち”の番 だったら。

大手企業の漏えいニュースを見た社長は、何年も更新していない自社サイトのことが気になりはじめます。放置した弱点が、入口になることも。まずは、自社サイトの現状確認から。

PART 1	前編	「ウチは大丈夫か？」	P.04
PART 2	後編	「まずは無料でチェックだ！」	P.06

CAST	社長	担当者
	中小企業の経営者。自社サイトは何年も更新していない。	Webとセキュリティの担当。現状確認からの対策を提案する。









02 WHY CHECK

気づかない設定ミスが、 情報漏えいの入口になる前に。

AIを使った攻撃の手口が日々新しくなるなか、狙われやすいのは「作ったまま」のホームページです。無料診断では、攻撃者と同じように外から見える情報だけを使って、注意すべき点を洗い出します。



自社サイトの状態を、まず外から確かめる

RISK 01

更新されないまま

更新が止まったCMSやプラグイン、期限の近い証明書。気づかいうちに、改ざんや漏えいの入口になることがあります。

RISK 02

外から見えている

エラー画面に出るサーバーの情報や、ディレクトリの一覧。攻撃の下調べに使える情報が、外から読み取れる状態になっていることがあります。

RISK 03

守り方が足りない

管理用の画面が外から見え、強いパスワードや多要素認証などの守りが十分でないと、総当たりで試されるおそれがあります。



REACTOR 1.0

診断は、上位モデルの Reactor 1.0 が担当します

Reactor で作ったアプリの検査にも使っている Reactor 1.0 が、公開ページの応答を読み解き、検出内容・確認できた根拠・想定されるリスク・推奨される対策をまとめてお伝えします。

AI診断は、リスクを早く見つけて対処するための仕組みです。すべての攻撃を防げることを保証するものではありません。第三者機関による診断とは区別しています。

03 WHAT WE CHECK

どのような安全チェックができるか。

公開URLから取得できる応答をもとに、次の7つの観点を確認します。あわせて「この検査では判断しないこと」も明記します。

Item 項目	Scope 確認できること	Not judged 判断しないこと
01 HTTPSとTLS証明書	常時HTTPSになっているか、証明書の有効期限、HTTPからHTTPSへ誘導されているか。	証明書の発行手続きや、サーバー内部の設定が業務に対して適切かまでは判断しません。
02 セキュリティ関連のHTTPヘッダー	HSTS、CSP、X-Content-Type-Options など、応答から取得できる設定の有無。	ヘッダーが設定されていることだけで、安全だとは判定しません。
03 エラー画面・サーバー情報の露出	公開されたエラーメッセージやサーバー構成の情報が、必要以上に表示されていないか。	内部のログや構成ファイルの状態は確認できません。
04 CMSの利用状況	WordPress などの利用が、公開情報から識別できる場合の検出。	利用していること自体を脆弱性とは判定しません。
05 確認できたバージョンの既知の問題	根拠をもってバージョンが確認できた場合に限り、既知の注意点をお知らせします。	確認できないバージョンを推測して、危険だとは表示することはありません。
06 管理用URLの見え方	ログインしていない状態で、管理画面や機微な情報が外から見える状態になっていないか。	ログイン後の権限の不備や、侵入できるかどうかはURLだけでは確認できません。
07 ディレクトリー覧などの設定不備	一般に見えてしまうディレクトリー覧の有無。	アクセス権の設計が業務にとって妥当かは判断しません。

SEVERITY 警告の区分 — 色だけでなく、言葉でもお伝えします。

重大	すぐに確認・対応をおすすめる内容です。	高	早めの対応をおすすめる内容です。	中	計画して直すことをおすすめる内容です。
低	余裕があるときの改善候補です。	情報	対応は不要で、状態をお知らせするものです。	未確認	公開情報からは確認できなかった項目です。安全・危険のどちらも判定しません。

IN THE REPORT 各項目には、次の4つを添えてお伝えします。

01 検出内容 何が見つかったか	02 確認できた根拠 応答のどこで確認したか	03 想定されるリスク 放置すると何が起こりうるか	04 推奨される対策 何から直すとよいか
ひとつの点数で「安全」と断定することはありません。		WordPressを使っていること、ログインページが公開されていることだけで「危険」と判定することもしません。	

操作の流れは、4ステップ。

診断サイト (REACTOR Security) で、ご自身のアカウントを作成してから始めます。ご自身に権限のないサイトは検査できません。

01

アカウントを作る

診断サイト (REACTOR Security) で、ご自身のアカウントを作成します。無料でご利用いただけます。

アカウントを作成

security.v-reactor.app

登録する

02

サイトを登録して、所有権を確認する

検査したいURLを登録し、指定された確認ファイルを設置して、そのサイトの管理者であることを確認します。

サイトを登録

security.v-reactor.app

03

検査する

所有権が確認できたサイトについて、公開ページから取得できる情報を検査します。

A screenshot of the security.v-reactor.app website. The page has a dark blue header with the text 'security.v-reactor.app' in white. Below the header, there's a light blue section with the title '検査を実行' (Execute Check) in bold black text. Underneath the title, there are two buttons: 'HTTPS・証明書 ... 確認済み' (HTTPS Certificate ... Confirmed) and 'HTTPヘッダー ... 検査中' (HTTP Header ... Checking). The 'HTTPヘッダー ... 検査中' button is highlighted with a blue border and a blue bar below it.

04

結果を読んで、対策する

検出内容・確認できた根拠・対策の候補を確認します。判断に迷うときは担当者にご相談いただけます。

結果を確認		security.v-reactor.app
高	HSTSが設定されていません	
中	サーバー情報が表示されています	
未確認	CMSのバージョン	

AFTER THE CHECK

診断の結果から、リニューアル案をその場で見られます。

診断サイトを開く

security.v-reactor.app

2

自社サイトをAIで無料診断

隠れた危険と、その危険度が分かります

3

「AIによるリニューアル案を試みる」

診断結果画面の最後にあるボタンで
す

4

トップページが、AIできれいに

トップページだけのサンプルです

画面の図はイメージです。実際の表示とは異なる場合があります。リニューアル案はトップページのためのサンプルです。

05 SAFETY & LIMITS

検査は、安全に配慮した範囲だけ。

診断はお客様のサイトに負担や危険を与えないことを優先して設計しています。公開URLの検査でわかることには、限りがあります。

WHAT WE DO NOT DO

検査のルール

- お客様がご自身で登録し、所有権を確認できたサイトだけを検査します。
- 検査はページの取得と応答の解析にとどめ、侵入の試行・認証の突破・パスワードの推測・高負荷のスキャン・管理機能の操作は行いません。
- 社内のアドレスや内部IPなど、外部から検査すべきでない宛先は受け付けません。
- 取得する内容・回数・時間には上限を設け、記録は必要な範囲に限って保管します。
- 許可を確認できない対象は、理由をお伝えして中断し、個別のご相談として承ります。

LIMITS

公開URLの検査では、確認できないこと

- ログインしたあとの権限の不備（他人のデータが見えてしまう、など）
- 実際に侵入できるかどうか、内部の情報が持ち出せるかどうか
- 社内ネットワークやサーバーの設定、運用ルールの妥当性
- 会員向け・業務システムなど、ログインが必要な画面の中身

LOGIN REQUIRED SYSTEMS

業務システム・会員サイトは「詳細診断」で。

ログインが必要な画面は、公開URLの検査では確認できません。対象と範囲を確認し、書面で許諾をいただいたうえで診断します。最初のフォームでは、ID・パスワード・APIキー・個人情報はお預かりしません。

01

お申し込み

対象と目的をうかがう

02

範囲の確認

対象の画面と期間を決める

03

同意・許諾の書面

権利・権限を確認

04

テストアカウント

期間限定・最小権限で別途

05

診断とご報告

問題と修正提案

LIGHT

ライト診断

AI自動診断とレポート

10万円～
税抜

STANDARD

スタンダード診断

AI診断に、専門家のレビューと改善提案を加える

30万円～
税抜

料金の目安は小～中規模・1システムの場合です。

準備中

LLMO / AIO 診断 (AI検索に伝わりやすいか)

コンテンツ理解・情報構造・根拠・信頼性・AI可読性・検索・クローリング適性・画像・メディアの説明・改善の余地の観点で、AIに理解されやすい内容・構造かを検証する診断を準備しています。実際の引用回数や検索順位を測るものではありません。個別のご相談はお問い合わせから承ります。

06 FAQ & NEXT STEP

よくある質問と、診断のあとに。

Q どのサイトでも診断できますか。

無料でご利用いただけますが、どのサイトでも無条件に検査できるわけではありません。診断サイトでアカウントを作成し、検査したいURLを登録して、指定の確認ファイルを設置する方法でサイトの所有権を確認してから検査します。

Q サイト全体を診断しますか。

まずは登録したサイトの公開ページを対象とした簡易な検査です。サイト全体を網羅するクロールや、ログインが必要な画面の診断とは別のもので、ログイン後の画面を含む診断は、承諾の手続きを経た「システムの詳細診断」で承ります。

Q 診断の料金はいくらですか。

公開ページの簡易チェックは無料です。アカウントの作成とサイトの所有権の確認が必要です。ログインが必要な業務システムの詳細診断は、範囲を確認したうえで個別にお見積りします。

Q 結果はどこまで信頼できますか。

「公開情報から確認できたこと」と「確認できなかったこと」を分けてお伝えします。確認できなかった項目は「未確認」とし、安全・危険のどちらとも判定しません。

NEXT STEP 診断のあとは、守りから攻めへ。

STEP 0	AIセキュリティ初期診断	0円
基本プラン	安全なりリニューアル	初期 30万円 月額 1万円
追加オプション ①	アクセス解析&改善	初期 +10万円 月額 3万円
追加オプション ②	AI広告運用・集客拡大	初期 +20万円 月額 30万円〜

金額は税抜。詳しくは別冊「ホームページのAIリニューアル・解析・広告運用」をご覧ください。

START NOW

まずは、自社のホームページを無料で診断してください。

アカウントの作成からサイトの登録、所有権の確認、検査、結果の確認までを診断サイトで行えます。判断に迷うときは、担当者にご相談いただけます。

診断サイト (REACTOR Security)

security.v-reactor.app

診断の説明・よくある質問

v-reactor.app/diagnosis

ログインが必要なシステムの詳細診断

v-reactor.app/audit

ご質問・ご相談

v-reactor.app/contact